

7/8 きれいになった遊具で遊んで♪ 五所川原塗装工業会 大型遊具塗装ボランティア

西北地域の塗装業者らでつくる五所川原塗装工業会（佐藤工会長）が富士見湖パークの大型遊具「鶴の砦」の塗装ボランティアを行いました。

同会による奉仕活動は3年目。この日は会員11人が参加し、ペンキが剥がれた大型遊具の柵などを丁寧に塗り直していました。

佐藤会長は「安全も確認しながら塗装しているので、安心してきれいになった遊具で遊んでほしい」と話していました。



遊具の塗装を行う会員



相川町長へ目録を手渡す山中会長（左）

7/10 農産物を鳥獣から守る！ つがるにしきた農業協同組合 鳥獣被害対策

つがるにしきた農業協同組合（山中満春組合長）から町へ鳥獣被害対策用としてロケット花火335袋（1袋20本入り）の寄贈がありました。

津軽地域では農産物の鳥獣被害が多く確認されており、同農協は管内自治体の鳥獣被害対策支援として初めて実施。山中組合長は「管内の組合員から『鳥獣被害が大変』という声を多く聞く。組合員から好評であれば今後の支援のあり方を考えていきたい」と話していました。

同農協は深浦町や鰺ヶ沢町にも同様にロケット花火を寄贈しました。

7/11 子供たちを危険から守る 鶴田町防犯協会 鶴田小学校へ防犯ブザーを寄贈

鶴田町防犯協会（上原英夫支部長）が鶴田小学校を訪れ、防犯ブザーを寄贈しました。

防犯ブザーを受け取った木村校長は「子どもたちの安全のために寄贈していただきありがとうございます。最近是不審者などの事案も増えているので、子どもたちには危険を感じたらすぐに周りにSOSを発してほしい」と話していました。

今回寄贈された防犯ブザーは全部で145個、同校1年生と2年生の児童全員に配られます。



防犯ブザーを贈る上原支部長（左）

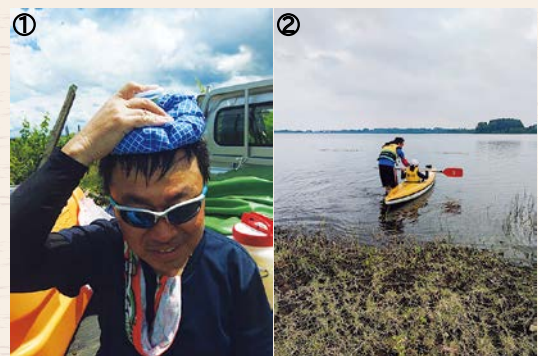


Vol.90 （筆：葛西 忍）

子供たちが夏休みに入り、あるプレッシャーを感じておりました。それはここ数年耳にするようになった「体験格差」へのプレッシャー。「体験」が子供の成長を促し、その結果、自己肯定感を高め、さらにやる気、忍耐力、協調性を向上させる・・・しかしながら現実はどうの房づくり、枝管理に追われる日々で結局いつもの日常。

その時、ラジオから流れてきたのがこの「体験格差」についての話題。「体験」とは取り揃えることではなく、知らない世界を知るための一歩を提供することだと。

昨今は子供会や町内会など地域の大人の力を借りていろいろな体験をするのが難しくなっている中でスポーツフェスティバル、カー教室など地域において親以外の大人との関わりが持てる機会があることも子供を育てる上での鶴田町の魅力の一つだと思います。

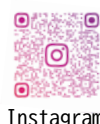


①農作業中の熱中症対策

②カー教室に参加する葛西さん親子



Facebook



Instagram

地域おこし協力隊の活動内容は、各種SNSでも確認することができます。



「綱打ち」を行う住民たち

7/26 地域の文化を後世に 山道町内会 大しめ縄制作

山道町内会は3年に1度大しめ縄を制作し、岩木山神社（弘前市）に奉納しています。

山道町内会による大しめ縄の奉納は記録に残っている昭和43年から続いており、50年以上の伝統があります。大しめ縄の制作は今年3月の稲わらのミゴ取りから始まり、7月から本格的な制作を開始しました。この日は集会所に住民9人が集まり、「綱打ち」と呼ばれる細い縄に稲わらを加えながら、固くねじり上げてより太い縄を作っていく作業を行っていました。

8月 日
31日

お山参詣への参加者募集

山道町内会では、岩木山神社に大しめ縄奉納のため、次のようにお山参詣を実施します。
山道町内以外にお住まいの参加者を募集します。

- ▶ **日 程**
- ① 出発式（場所：山道文化センター）【8：00～8：15】
 - ② 岩木山神社大鳥居前到着・準備【9：15】
 - ③ 参道を隊列組み お山参詣（登山囃子演奏）
 - ④ 大しめ縄取り付け【11：30 終了予定】
 - ⑤ 山道文化センターで昼食
- ▶ **服 装** 白のTシャツに白系のズボン。豆絞りと白の手袋は準備します。
- ▶ **参加費** 無料、駐車場は当町内会で確保し個人負担無し。



前回の大しめ縄奉納のようす

■問い合わせ先：山道町内会 澁谷 ☎：090-7330-5986



学習会での調理実習

7/31 健康知識を学ぶ からだところの健康づくり学習会

「からだところの健康づくり学習会」が始まりました。

この学習会では、健康に関する勉強会や体に良い食事の調理実習などが行われます。講座は食生活改善推進員養成講座も兼ね、来年2月までシリーズで行われる予定で、随時参加が可能です。

申込方法：・電話 0173-22-2111
・Web 二次元コードから
・窓口 子ども健康課6番窓口



Vol.91（筆：帯川 匠）

みなさんこんにちは。毎日気温が 30℃を超える中、いかがお過ごしでしょうか。梅雨が明けて息つく間もなく猛暑到来ということもあり、外仕事の過酷さが増すばかりです。暑さの体感で言えば東京と大差ありませんので、みなさん熱中症には十分に気を付けてこの夏を乗り切りましょう。

さてさて。ここからは私事ではありますが、なんと！鶴泊に空き家を購入しました。以前はアパートに住んでいましたが、恥ずかしながらアパートで農家はできないことに気づき、急遽探すことになり知合いの紹介もあって無事に購入までありつけました。

ただ、築 45 年の空き家ということで補修が必要な部分が多々あり、すぐには住めない状況なので、気長にのんびりと DIY 修理しようと思えます。ちなみに私の名前は匠ですが、大工作業は一切やったことがないので、名前負けしない程度に頑張ります！



①真夏の農作業中の帯川さん
②DIY に挑戦中

地域おこし協力隊とは

人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、地域外の人材を「地域おこし協力隊員」として町が委嘱。隊員には、地域おこし支援や地域協力活動を行っていただき、その地域への定住・定着を図る取組。